

人文学部プロジェクト活動報告

人文学部は、以下のプロジェクトに戦略的経費（研究プロジェクト助成）を配分しています（右は代表者名）。

刊行物助成

英語と英米文学

独仏文学

山口地域社会研究

山口大学哲学研究会

池園宏

Michel de Boissieu

速水聖子

栗原剛

『英語と英米文学』

『英語と英米文学』は、山口大学人文学部・教育学部・経済学部・国際総合科学部に所属する教員グループが、年1回刊行している学術研究誌である。メンバーは現在13名で、このうち人文学部教員は欧米言語文学コース所属の6名（岩部浩三、太田聡、上田由紀子、宮原一成、池園宏、外山健二）である。掲載内容は各メンバーの日頃の研究成果を反映した論文等で、その領域は英語学・英米文学・英語教育・英語圏文化など多岐に及んでいる。1965年に創刊された本誌は半世紀以上に及ぶ歴史があり、今年度で第53号の刊行を迎えた。最新号の掲載内容は以下の通りである。

1. 英語の大母音推移について
(On the English Great Vowel Shift)
(太田 聡：人文学部)
2. A Comparative Study of Criticism in English and Japanese Sociolinguistic Book Reviews
(Kayo FUJIMURA-WILSON：経済学部)
3. Shadow Education Defined
(Ariel K. SORENSEN：国際総合科学部)

4. 初級レベルの日本人大学生を対象とした英文速読指導に関する実践報告

(A Report on Speed Reading Instruction for Japanese University Students Studying English at Basic Level)

(猫田 和明：教育学部)

なお、人文学部から配分された戦略的経費（研究プロジェクト助成）は、今年度の刊行・発送に要する費用の一部として有効に活用されている。また、本誌の電子版は山口大学学術機関リポジトリ YUNOCA により学内外に広く公表されている。これらの支援を受け、『英語と英米文学』は今後も継続的に各研究者の活動成果の公表に寄与していく予定である。

(池園 宏)

『独仏文学』

山口大学『独仏文学』は山口大学独仏文学研究会が年1回刊行している学術雑誌で、今年度で40号となる。山口大学独仏文学研究会はドイ

ツ語学・文学、フランス語学・文学を研究領域としている教員のうちの希望者を正会員とし、その他、元正会員だった者のうちの希望者を名誉会員とし、さらに、ドイツ語学・文学あるいはフランス語学・文学の非常勤講師のうちの希望者を準会員としている。

第40号の掲載論文は次の2本である。

La Grande Rafle du Vel d'Hiv

Die grosse Razzia vom 16. und 17. Juli im besetzten Paris

Nonfiktive und fiktive Romane und deren Verfilmungen

Felicitas Dobra

Casanova et les pays germaniques

Michel de Boissieu

なお、執筆者の Felicitas Dobra は名誉会員、Michel de Boissieu は正会員で人文学部の所属である。

(Michel de Boissieu)

山口地域社会研究

「山口地域社会研究」プロジェクトは山口地域社会学会の研究活動を中心としており、現在は年に2回の研究例会の開催、ならびに年1回の学会誌『やまぐち地域社会研究』の発行を行っている。研究例会は、会員によるそれぞれの研究発表を毎回2～3本ずつ報告する形で行われ、活発な意見交換がなされている。人文学部の現教員は横田尚俊・速水聖子（現代社会学）、高橋征仁・桑畑洋一郎（社会心理学）、谷部真吾・小林宏至・山口睦（民俗学・文化人類学）の計7名で、社会学コースの全員を会員としている。

2018年は、第45回例会7月28（土）・第46回例会11月17日（土）の計2回の研究例会を開催した。特に、今年度は第45回の研究例会を

日本社会分析学会と合同で山口県セミナーパークにて開催し、多くの参加者による活発な例会となったことを報告しておきたい。今後もこのような機会を通じて、他の研究組織とのネットワーク作りにも寄与することを進めていきたい。

また、7月の研究例会には台湾在住の会員による報告も行われ、東アジア研究科の大学院生（留学生）の報告も含めて、学会の国際化も進んでいる。山口地域社会学会自体はローカルで小規模な学会ではあるが、情報発信の機会として活動の門戸はグローバルに開かれたものとなることを期待したい。

2回の研究例会では東アジア研究科の大学院生も含め多くの一般研究報告も行われた。今年度の研究例会の成果を踏まえて、年度末に学術雑誌『やまぐち地域社会研究』（第16号）を刊行する予定であり、現在、編集作業を進めているところである。

(速水聖子)

山口大学哲学研究会

山口大学哲学研究会は、山口大学に所属する哲学・思想系の教員を中心とする組織で、会誌の発行、合評会、研究発表会などの活動を行っている。

現在、正会員（学内の常勤職員である会員）は11名で、そのうち、人文学部の教員は、ジュマリ・アラム、柏木寧子、栗原剛、藤川哲、村上龍、横田蔵人、脇條靖弘の7名である。他学部の正会員は、佐野之人（教育学部）、山本勝也（経済学部）、小川仁志（国際総合科学部）、小山虎（時間学研究所）の4名である。また、名誉会員（過去に山口大学に所属したことのある学外の会員）は22名で、そのうち、人文学部の元教員は、上野修、遠藤徹、奥津聖、加藤和哉、木村武史、周藤多紀、武宮諦、田中均、外山紀

久子、林文孝、古荘真敬、頼住光子の12名である。2018年度は、栗原剛（人文学部）と山本勝也（経済学部）が、運営委員を担当した。

本年度は、例年通り、会誌『山口大学哲学研究』の発行を続けた。第25巻は2018年3月に発行され、年度をまたいでから各会員・諸機関へ発送された。掲載論文は、「初期ベルクソン哲学における「感性」概念——九世紀末の「心理学講義」を中心に——」（村上龍）、「西田幾多郎における日本近代」（佐野之人）、「アニメ哲学の誕生—宮崎駿とトナリ性」（小川仁志）、「問答法と定義—プラトン『パイドロス』265c-266b」（脇條靖弘）、「塵あくたにすぎないわたしですが」—トマス・アキナスの謙遜論」（横田蔵人）、の五本である。なお、人文学部より支給された「刊行物助成経費」を、印刷・製本費用の一部にあてさせていただいた。また、第26巻は2019年3月に発行される予定であり、村上龍、小川仁志、末松壽、山本勝也（掲載予定順）の4名による、論文もしくは書評を掲載する。

その他の活動として、2018年9月28日に「2018年度山口大学哲学研究会」を開催した。当日は、本研究会会員3名が研究発表を行い（小山虎「分析哲学とは何だったのか：近年の歴史研究に基づく再検討」、ジュマリ・アラム「カリスマから偶像へ：キャラクターの実体化」、小川仁志「公共性をめぐる現代的問題の検討」）、参加者によって分野の違いをこえた議論が交わされた。

（栗原剛）

山口大学人文学部異文化交流研究施設事業

交流部門事業

公開講演会

年度	開催日	講演者	国	所属機関	演題
平成30	2018. 7. 11	日下 渉	日本	名古屋大学大学院 国際開発研究科准教授	腐った秩序の魅力 —マニラのスラムから現代社会を考える—
	2018. 12. 12	内田 亮子	日本	早稲田大学 国際教養学部教授	人類と言語の進化

研究部門事業

研究プロジェクト

年度	プロジェクト	代表者
平成30	HRAFを利用した諸民族の父娘間の居住形態に関する研究	小林 宏至
	島根県荒神谷遺跡出土銅矛の研ぎ分け研磨痕の再実測調査	村田 裕一
	光州ビエンナーレ・釜山ビエンナーレ実地調査	藤川 哲

山口大学人文学部 異文化交流・研究活動

交流部門交流事業

1. 海外渡航 (H30.1~12)

年	渡航者名	訪問先	期間	目的	費用の出所
平成30	乾 秀行	エチオピア	H29.12.17~H30.1.18	エチオピア少数言語の記述調査のため	科学研究費補助金
	馬 彪	中国	H30.1.27~2.5	前漢帝国における西北辺地の出土文物の調査のため	研究基盤経費
	Hintereder Emde Franz	オーストリア・ドイツ・スイス	H30.1.29~2.16	20世紀の文学における白雪姫の翻案に関する研究打ち合せ及び資料収集のため	研究基盤経費
	乾 秀行	エチオピア	H30.1.24~1.29	第1回オモ研究国際会議に出席のため	先方負担
	馬 彪	中国	H30.2.10~2.23	中国古代(秦漢)史についての研修のため	私費
	小林 宏至	中国	H30.2.8~2.19	客家の民間建築と親族組織に関する現地調査のため	科学研究費補助金
	竹中 幸史	フランス	H30.2.9~2.20	史料調査のため	研究基盤経費
	田中 晋作	韓国	H30.3.14~3.18	板橋古墳群の調査他	科学研究費補助金
	齊藤 大輔	韓国	H30.3.14~3.18	板橋古墳群の調査他	科学研究費補助金
	山口 睦	ベトナム	H30.3.16~3.20	ベトナムの戦跡観光の調査のため	科学研究費補助金
	滝野 正二郎	台湾	H30.3.12~3.16	学生の語学研修引率のため	法人運営費
	田中 晋作	韓国	H30.3.26~3.30	韓国三国時代に関する資料及び遺跡調査のため	科学研究費補助金
	馬 彪	韓国	H30.4.26~4.29	第24回 加耶史国際學術会議での発表のため	先方負担
	藤川 哲	オーストラリア	H30.5.9~5.15	シドニー・ビエンナーレ調査・資料収集のため	法人運営費
	馬 彪	中国	H30.7.31~9.4	中国古代(秦漢)史料の調査と検討	私費
	滝野 正二郎	台湾	H30.8.20~8.30	明清史夏合宿参加, 明清史関連史資料収集のため	研究基盤経費
	南雲 泰輔	オーストリア	H30.8.21~8.28	後期ローマ帝国時代の世界認識に関する資料収集のため	科学研究費補助金
	速水 聖子	シンガポール	H30.8.23~8.28	海外日本人コミュニティの実態に関する聞き取り調査のため	科学研究費補助金
	Hintereder Emde Franz	ドイツ・スイス	H30.8.28~9.7	シンポジウム参加, 資料収集, 科研プロジェクトについての研究打ち合わせ	科学研究費補助金
	小林 宏至	台湾	H30.8.29~9.2	国際会議出席及び研究発表のため	私費
藤川 哲	韓国	H30.9.17~9.23	国際美術展調査, 会場写真調査, 図録等資料収集のため	法人運営費	
馬 彪	中国	H30.9.17~10.2	新疆における漢・新帝国の出土文物と遺跡の調査	科学研究費補助金	
南雲 泰輔	韓国	H30.10.25~10.28	International conference "Negotiating the Time"での報告のため	先方負担	
竹中 幸史	フランス	H30.10.13~10.25	資料調査のため	科学研究費補助金	

2. 科学研究費補助交付

交付年度	研究種目	課題番号	代表者	課 題 名
平成30	基盤研究(A)	15H01891	橋本 義則	東アジアにおける都城と葬地の政治的・社会的関連に関する比較史的総合研究
	基盤研究(B)	16H03507	田中 晋作	古墳時代中期の政権構造に関する基礎的研究—古市古墳群高塚山古墳出土資料の調査
	基盤研究(C)	15K02439	根ヶ山 徹	徳山毛利家棲息堂所蔵漢籍の書誌学的研究と分類目録の作成
	基盤研究(C)	16K02451	宮原 一成	読む行為を贈与として捉える可能性と意義についての基礎的事例研究
	基盤研究(C)	16K02680	富平 美波	『続通志』「七音略」とその門法の研究
	基盤研究(C)	16K02771	岩部 浩三	人間の認知能力の複合性と総称文の多様性
	基盤研究(C)	16K02772	太田 聡	日英語対照による語形成と音韻構造に関する発展的研究
	基盤研究(C)	16K03223	谷部 真吾	祭礼の脱「暴力」化に関する民俗学的研究
	挑戦的萌芽研究	16K13203	外山 健二	アメリカ文学のイスラーム
	若手研究(B)	16K16905	石田 俊	近世公武論の総合的研究
	基盤研究(C)	17K02257	栗原 剛	『葉隠』の武士道をめぐる倫理思想史学的研究—未刊写本の翻刻と注釈作成を通して
	基盤研究(C)	17K03209	村田 裕一	道具組成からみた弥生時代山陰地域における地域性成立と交流・鉄器化進行過程の研究
	若手研究(B)	17K13561	南雲 泰輔	後期ローマ帝国時代における世界認識の構造にかんする研究
	基盤研究(C)	17K03721	山口 睦	活性化する贈与経済についての人類的研究
	基盤研究(C)	17K04184	桑畑 洋一郎	HTLV-1関連疾患当事者の当事者運動に関する研究
	基盤研究(C)	18K00188	藤川 哲	日本と韓国における国際美術展のグランド・ツアーインパクトをめぐる基礎的研究
	基盤研究(C)	18K00479	エムデ・フランツ	ジャンルの混交と共感覚—20世紀モデルネの文学・絵画の新たな受容
	基盤研究(C)	18K00576	上田 由紀子	日本手話における空頂に関する統語研究
	基盤研究(C)	18K0103	竹中 幸史	フランス国旗・国歌の歴史学—基礎的研究
	基盤研究(C)	18K01963	高橋 征仁	被災者はなぜ罪悪感を抱くのか?—避難の困難さと社会的承認に関する実証的研究
	基盤研究(C)	18K02029	横田 尚俊	災害復興期における広域避難者・支援者間のネットワーク再編に関する研究
	国際共同研究強化(B)	18KK00090	乾 秀行	エチオピア諸語の記述とドキュメンテーション: ソーシャル・イノベーションにむけて
	基盤研究(C)	15K02249	尾崎 千佳	西山宗因年譜考証
	挑戦的萌芽研究	15K12827	藤川 哲	国際美術展の企画テーマと出品作品に基づく「現代美術主題分類システム」の構築
	基盤研究(C)分担	17H00834	田中 晋作	高精度同位体比分析装置を用いた古代日本における青銅器原料の産地と採鉱状況の研究
	基盤研究(C)分担	17K02189	柏木 寧子	神仏共存神話の原理に関する倫理学的研究—日本思想の基軸の解明
	基盤研究(C)分担	17K02189	栗原 剛	神仏共存神話の原理に関する倫理学的研究—日本思想の基軸の解明
	基盤研究(C)分担	17K02691	上田 由紀子	日本手話における文末指さしの指示対象に関する統語研究
	基盤研究(C)分担	16K02429	野坂 昭雄	旧日本映画社撮影長崎原爆映像の超高度精密化と関連資料等による歴史的記録性の確立
	基盤研究(C)分担	18K00157	森野 正弘	楽書『教訓抄』全注釈のための基盤形成
	基盤研究(B)分担	17H04561	速水 聖子	海外日本人社会における情報環境の変容とコミュニティの動態に関する比較社会学的研究
	基盤研究(B)分担	15H03140	山口 睦	東アジアの戦争観光とナショナルリズム
基盤研究(B)分担	16H03427	太田 聡	隣接諸科学乗り入れ型的手法による音韻理論の外的・内的検証の研究	
(東アジア所属分) 基盤研究(C)	17K03133	馬 彪	王莽の「新」帝国を創建する標準化改革についての出土文物・文字による研究	